

ヴェリタス学習会通信 70

予定表カレンダー →



令和5年1月の予定

- ・月曜日 1月9・16・23・30日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 1月4・11・18・25日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 1月5・12・19・26日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 1月6・20・27日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30～21:00
13日 北勢福祉センター2階中会議室 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

29日(木)～1月3日(火)はお休みです。

9日(月)は成人の日ですが、大安公民館を借りられたので開会します。

13日(金)の会場は、いつもの部屋から見て廊下をはさんで斜め北の中会議室です。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールや LINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoom などの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

色の形容詞

「美しい」という語は、形容詞という言葉の種類(品詞：ひんし)に分類されます。形容詞は言い切りの形が「い」で終わります。「色の名前」はたくさんありますが、「色の形容詞」は限られます。

「白い」「黒い」「赤い」「青い」。純粹なのはこれだけです。

「茶色い」「黄色い」と「色」が入るものが2つあります。名詞「茶色」に「い」をつけて形容詞にしているの

です。もちろん「お茶の色」という意味です。ほうじ茶の色ですね。「黄色」については確定した説はありませんが、「木の色」とも「金の色」とも言われています。

「緑い」「緑色い」という形容詞はありません。「緑」「紫」というのは名詞です。

日本人は「青」が好き

ここからは、名詞も含めた色名の話になります。

南米のアマゾン地域に住んでいるピダハン族には、色を表現する言葉がないそうです。数の概念もないのだそうです。ただし、近年ブラジル政府がポルトガル語と数学を教える学校をつくったそうです。

ピダハンは極端な例でしたが、2つの色しか言葉にない言語は、かなりあります。それらの言語にみられる色は、すべて「白」「黒」なのだそうです。我が家に最初にあったテレビは、白黒映像のものでした。

3色の色名をもつ言語は、「白」「黒」に「赤」が加わります。4色の色名を持つ言語は、これらに「緑」か「黄色」が加わるそうです。色の言葉を研究したバーリンとケイは、このようにまとめています。例外があり、この4色目に「緑」でも「黄色」でもない色がきているのが、日本語なのだそうです。日本語は、たくさん色名が追加されてきましたが、冒頭で述べたように「い」で終わる形容詞の4番目は「青い」なのです。

日本語の「緑」は、もともとは「新芽」という意味でした。色を表す言葉ではありませんでした。これが色名に使われるようになっただけです。「青葉」「青菜」「青物野菜」「青汁」というように、日本人は昔から「緑」を「青」と呼んでいたのです。信号機の「青信号」は、実際は「緑」ですね。



日本人は「青」が好きなのでしょうか。サッカーの日本代表「侍ブルー (SAMURAI BLUE)」の活躍は記憶に新しいですね。日の丸や祝い事に用いられる白・赤に負けず劣らず、「青」は日本を表す色なのでしょう。



先日、大安町にある藍染（あいぞめ）工房で藍染体験をしてきました。手拭いを染めました。天然の酵母発酵の染液に浸けて染める古来のやり方なのだそうです。この染液をつくるのが大変で、何か月もかかるため、さすがにそこは説明だけでした。私たちは4つの甕（かめ）に入っている染液に、合計7回布を浸す、絞る、空気に触れさせるを繰り返します。出したい色により回数は調整されます。

こうして染めた布は、悪さをする菌を寄せ付けないそうです。衣服に染めれば、アトピー皮膚炎も改善するのだとか。この手ぬぐいを枕カバーにすると安眠できるといいます。手袋や靴下を染めると、ぼかぼかして、カイロいらなくなると説明がありました。洗剤を使って洗うと、いっぺんに効果がなくなるそうですので注意を。

藍染は、大化の改新前後に日本に伝来したとされ、正倉院にも藍染の布が多く所蔵されているそうです。庶民の間に藍染の衣服が一般化するの江戸時代で、阿波（あわ：徳島県）の藍が特に品質が良かったそうです。日本各地に多くの藍の染物屋ができました。注文が多すぎて、自分の衣服を染められない様子を「紺屋（こんや；こうや）の白袴（しろばかま）」といいます。「医者の不養生」と同じような意味です。

中国の『荀子』という書物には、「青は藍（あい）より出（い）でて藍より青し」という言葉が記されています。「出藍（しゅつらん）の誉（ほま）れ」という言葉と同義です。弟子が師匠よりも優れた人物になることです。

今さらですが、「藍」は植物の名前です。インディゴといわれる成分を利用して青く染めます。ジーンズもインディゴが使われますが、現在ではほとんどが化学合成のインディゴで染めています。

藍染の青、青い空、青い海、……。日本には美しい青があふれています。